

【重複期間がある場合】

1 施設（事業所）目
 【開始日】 H26 年 4 月 1 日～【終了日】 H30 年 3 月 31 日
 ・ 従事期間：1,461 日（4 年）
 ・ 従事日数： 850 日

2 施設（事業所）目
 【開始日】 H30 年 3 月 1 日～【終了日】 H31 年 3 月 31 日
 ・ 従事期間：396 日（1 年と 1 ヶ月）
 ・ 従事日数： 240 日



従事日数内訳証明書がない場合として仮定

従事期間計算表

重複期間の考え方



計算したい従事期間の算定開始日と算定終了日を下の表に入力して下さい。



このボタンを押すと、計算結果が表示されます。

計算

1 施設（事業所）目		クリア
算定開始日	平成26 年 4 月 1 日	
算定終了日	平成30 年 3 月 31 日	
この間の従事期間：1,461日		
2 施設（事業所）目		クリア
算定開始日	平成30 年 3 月 1 日	
算定終了日	平成31 年 3 月 31 日	
この間の従事期間：396日		
3 施設（事業所）目		クリア
算定開始日	年 月 日	
算定終了日	年 月 日	
この間の従事期間：0日		
4 施設（事業所）目		クリア
算定開始日	年 月 日	
算定終了日	年 月 日	
この間の従事期間：0日		

あなたの従事期間は

従事期間の単純合計	1,857日
重複期間の延べ日数 (注意1)	重複した 31日 を差引く
実務経験の対象となる従事期間(注意2)	1,826日

※重複した期間のうち、同じ日に複数の事業所で勤務しても、従事日数は1日となりますので、『(様式4) 従事日数内訳(見込)証明書』で、それぞれの事業所から勤務した日数を証明してもらう必要があります。ただし、重複した期間の日数を差し引いても900日以上ある場合は、『(様式4) 従事日数内訳(見込)証明書』の提出は必要ありません。